



良寛の里美術館

入館料／大人500円 小人300円 未就学児無料
開館時間／9:00～17:00(月曜休館)



特別展 内山玲子書展「良寛・貞心尼詩歌の世界」

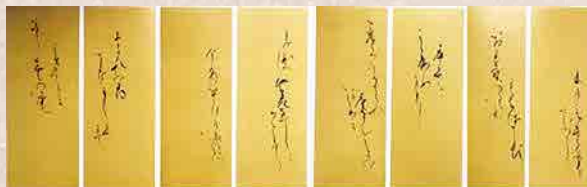
～凜とそして艶やかに～

令和7年
期間 7月4日金～9月28日日

今年は、書家・故内山玲子生誕100年。来年(2026)は良寛と貞心尼が長岡市島崎で出逢ってから200年となります。それに先駆け、関東女流書家の要であった内山玲子先生の屏風「はちすの露・序文」をはじめ、はちすの露をテーマに良寛と貞心尼の詩歌を書き上げた大作9点を公開します。書を志して60年の節目にあたる2005年に東京銀座画廊・美術館で個展を開催された際の作品を当美術館に寄贈されました。8月には内山玲子作品贈呈に尽力していただいた毎日新聞社芸芸編集委員や環太平洋大学教授などを歴任された荒井魏(たかし)氏による講演会を計画しております。

【内山玲子作品紹介】

十曲屏風半双「はちすの露」、二曲屏風一雙「はちすの花」、
二曲屏風半双「花心なくして」、襖「春夏秋冬」、四曲屏風一雙「戒語」、
額装「春のはじめ」、額装「尊しや」、額装「夕されば」、額装「印可の偈」



襖 「良寛うた・春夏秋冬」



額装 「貞心尼うた・夕されば」



内山玲子 略歴

1925年北海道生まれ、1946年札幌で松本春子先生に師事。1955年毎日書道展かな部門賞受賞。1958年上京して仲田寛一先生に師事。2006年毎日書道顕彰(芸術部門)賞、2007年第48回毎日芸術賞など受賞。各種展覧会審査員歴任。創玄書道会、財毎日書道会、かな書道作家協会などの顧問、かつら会主宰。2022年97歳で逝去。

第6回 良寛・貞心尼 手まり茶会

- ◆会場／茶室「指月亭」と和らぎ家の二席
- ◆開催日時／11月9日日 9時00分～14時20分
- ◆受付開始／8時30分～ ◆受付終了／13時40分
- ◆参加費／3,000円(点心和良寛の里美術館入館料込み)
- ◆主催／長岡良寛の会/良寛の里美術館

茶席／桑原宗夏(宗遍流)/眞島宗俊(裏千家)/太田藤絵(表千家)

お申込方法／先着150名様(専用申込書あり)

●FAX 0258-74-3702(良寛の里美術館)

●郵送 〒949-4525 長岡市島崎3938番地 良寛の里美術館宛

問合せ先／長岡良寛の会 安達武男(☎080-2626-1037)

良寛の里美術館(☎0258-74-3700)



第2回 良寛ゆかりの拓本展

期間 | 7月4日金～9月28日日

近隣の良寛歌碑から採択した作品約40点を公開します。出展は見附市拓本同好会のみなさんの作品と良寛の里美術館所蔵品で構成します。拓本を通して改めて良寛への思いや碑を建立した人びとの思いなどを感じてください。

「いろは」
良寛書



美術館に
入館された方に

道の駅良寛の里わしま もてなし家の
バニラアイス
無料引換券
差し上げます。(当日限り)

(当日限り)

ぬくもり伝わる今町べと人形の世界

令和7年
期間 10月4日土～12月24日水

「今町べと人形」の素朴でぬくもりある世界観で、人間味あふれる良寛さんの魅力もお楽しみいただけます。



今町べと人形とは

見附市今町に伝わる「べと(土)人形」は、ホッとする素朴で愛らしい表情が特徴で、だるまやかえる、招き猫など、色とりどり、様々なモチーフの人形です。今町では明治から大正、昭和の戦後までは、子供たちの遊び道具として親しまれていました。

三角ちびだるまの色付けワークショップ

好きな色を塗って、世界にひとつだけのオリジナルの三角だるまがつくれます。作っただるまは、お家に持って帰れるので、お部屋に飾ったり、大切な人にプレゼントできます!

- ◆日 時……10/3(土) 10:00～1時間程度
- ◆定 員……親子10組(小学生以上)
- ◆参加費……1名 500円(良寛の里美術館入館料、材料費を含む)
- ◆申込み……電話(☎0258-74-3700)または専用申込みフォームよりお申し込みください。

申込みフォームはコチラ



良寛の里美術館、燕市分水良寛史料館、良寛記念館では、相互の入場券半券の提示で**入館料100円引**

良寛の里美術館 菊盛記念美術館
和らぎ家 歴史民俗資料館 茶室指月亭

〒949-4525長岡市島崎3938
☎0258-74-3700
開館時間:9:00～17:00

休館日 もてなし家……9月1日(月)
良寛の里美術館…毎月曜休館(月曜祝日時翌日)
菊盛記念美術館…現在休館中